

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】令和 1 年 6 月 13 日 (2019.6.13)

【公開番号】特開 2017-214193 (P2017-214193A)
 【公開日】平成 29 年 12 月 7 日 (2017.12.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2017-047
 【出願番号】特願 2016-109293 (P2016-109293)
 【国際特許分類】

B 6 5 H 3/06 (2006.01)

B 6 5 H 5/06 (2006.01)

【 F I 】

B 6 5 H 3/06 3 5 0 C

B 6 5 H 3/06 3 4 0 E

B 6 5 H 5/06 D

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 8 日 (2019.5.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シートを搬送する回転体と、
 前記回転体を駆動する駆動力を発生させるモータと、
 前記モータが設けられる装置本体に対して開閉可能であり且つ前記シートをガイドする搬送路を開放する開閉部材であって、前記回転体が設けられる開閉部材と、
 前記装置本体に設けられ、前記モータの駆動力を伝達する第 1 ギアと、
 前記開閉部材に設けられた第 2 ギアであって、前記開閉部材が閉じた状態では前記第 1 ギアと噛合して前記第 1 ギアからの駆動力を前記回転体に伝達し、前記開閉部材が開いた状態では前記第 1 ギアに対して離間する第 2 ギアと、
 前記第 2 ギアの回動軸を保持する保持部を備え、前記保持部の位置を調整することによって前記第 2 ギアの回動軸の位置を調整する調整部材と、
 を有することを特徴とするシート給送装置。

【請求項 2】

前記シート給送装置は、前記開閉部材に回動可能に設けられ、前記開閉部材を閉じた状態で前記装置本体に設けられた被係止部に係止する係止部を有し、
 前記保持部は、前記係止部の回動中心と同一軸上に回動可能に設けられることを特徴とする請求項 1 に記載のシート給送装置。

【請求項 3】

前記調整部材は、前記保持部を前記開閉部材に固定する固定手段を有することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のシート給送装置。

【請求項 4】

前記開閉部材には、前記シートが搬送される搬送方向において前記回転体よりも下流側に、前記シートを搬送するための第 1 搬送ローラが設けられ、
 前記装置本体には、前記開閉部材が閉じたときに前記第 1 搬送ローラと圧接する第 2 搬送ローラが設けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載のシート給送装置。

【請求項 5】

前記開閉部材を閉じた状態で前記第 2 ギアを前記第 1 ギアに向けて付勢する付勢手段を有することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載のシート給送装置。

【請求項 6】

前記シート給送装置は、
前記シートを積載する積載部と、
前記積載部に積載されたシートを給送する第 2 回転体と、
前記回転体とニップ部を構成し、前記第 2 回転体によって重なった状態で搬送された複数枚のシートを前記ニップ部において分離する分離部材と、
を有することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載のシート給送装置。

【請求項 7】

前記シート給送装置は、前記回転体に伝達された駆動力を前記第 2 回転体に伝達する伝達部を有することを特徴とする請求項 6 に記載のシート給送装置。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載のシート給送装置と、
給送されたシートに記載された情報を読み取る読取部と、
を有することを特徴とする読取装置。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載のシート給送装置と、
給送されたシートに画像を形成する画像形成部と、
を有することを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題に鑑み、本発明は、駆動力の伝達を精度よく行うことを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するための本発明に係る代表的な構成は、シートを搬送する回転体と、前記回転体を駆動する駆動力を発生させるモータと、前記モータが設けられる装置本体に対して開閉可能であり且つ前記シートをガイドする搬送路を開放する開閉部材であって、前記回転体が設けられる開閉部材と、前記装置本体に設けられ、前記モータの駆動力を伝達する第 1 ギアと、前記開閉部材に設けられた第 2 ギアであって、前記開閉部材が閉じた状態では前記第 1 ギアと噛合して前記第 1 ギアからの駆動力を前記回転体に伝達し、前記開閉部材が開いた状態では前記第 1 ギアに対して離間する第 2 ギアと、前記第 2 ギアの回動軸を保持する保持部を備え、前記保持部の位置を調整することによって前記第 2 ギアの回動軸の位置を調整する調整部材と、を有することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明によると、駆動力の伝達を精度よく行うことができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

図 8 乃至図 11 に示すように、ギア（第 2 ギア）20a は開閉カバー 9 に設けられ、アイドルギア（第 1 ギア）55 は装置本体に設けられている。このため、開閉カバー 9 を開くと、ギア 20a とアイドルギア 55 のギア部 55a は離間し（図 10 参照）、開閉カバー 9 を閉じるとギア 20a とギア部 55a は噛合する（図 9 参照）。